

ネオニコチノイド系殺虫剤

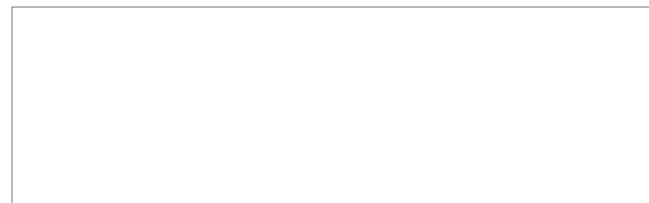
バリアド®

顆粒 水和剤



果樹・果菜・茶の害虫に長く幅広い効果。

- 使用前にはラベルをよく読んで下さい。
- ラベルの記載以外には使用しないで下さい。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。



®はバイエル クロップサイエンス(株)登録商標 P-1003 05.07NY 印刷：平成17年7月



Bayer CropScience

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
www.bayercropscience.co.jp



Bayer CropScience

はじめに

「バリアード顆粒水和剤」は新規ネオニコチノイド系の「チアクロプリド」を含む、果樹、野菜用の殺虫剤で、バイエルクロップサイエンス(株)において、合成された化合物です。その後、ドイツ・バイエル社との共同開発により、海外でも幅広い作物に開発が進められております。

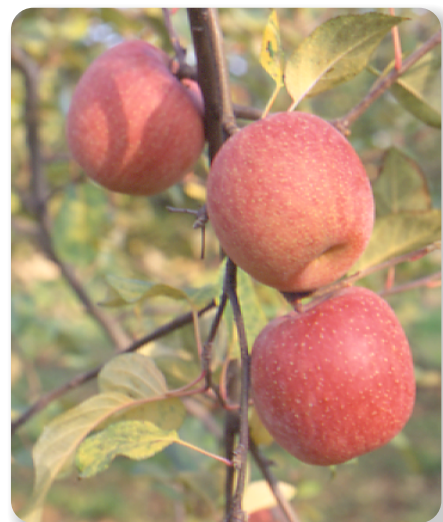
本剤は平成8年より「0831」のコードで、(社)日本植物防疫協会を通じ全国の公的試験研究機関で試験を実施し、その有効性が確認されました。

アトマイヤーを始めネオニコチノイド系殺虫剤は、多くの農業害虫に有効で、また温血動物、環境に対する影響が少なく、現在世界的に最も多く使われている殺虫剤になりました。

バリアード顆粒水和剤は、果樹のシンクイムシ類やキンモンホソガ、アブラムシ類など幅広い適用害虫を持ち、加えてミツバチやマルハナバチへの影響が少ないことから果菜類のいちごやトマト栽培などでも使いやすい薬剤です。

ここに、バリアード顆粒水和剤の特長、作用性および各地の試験場での試験結果や社内で得られた知見を紹介させていただきます。

今後のご指導、ご使用にお役立ていただければ幸いです。本剤の開発にあたりご試験、ご指導、ご協力をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げます。



目次

- バリアード顆粒水和剤の特長……………3
- 適用害虫と使用方法……………4
- 殺虫作用……………5
- 有効害虫スペクトラム……………6
- 物理的・化学的性質……………6
- 人畜毒性・魚毒性……………6
- 混用事例……………7
- 作物への安全性・周辺作物への安全性……………8
- りんごでの使用方法と試験成績……………9
- なしでの使用方法と試験成績……………10
- ももでの使用方法と試験成績……………11
- うめでの使用方法と試験成績……………12
- おうとうでの使用方法と試験成績……………13
- ぶどうでの使用方法と試験成績……………14
- いちごでの使用方法と試験成績……………15
- 有用昆虫に対する安全性……………15
- トマト・ピーマン・なすでの使用方法と試験成績……………16
- メロン・すいかでの使用方法と試験成績……………17
- 茶での使用方法と試験成績……………18

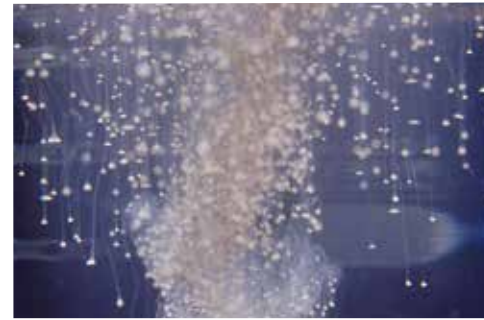


製品規格には100gと250g袋があります。
農林水産省登録 第20618号

■特長

- 1. 広範囲の害虫に高い防除効果**
果樹のシンクイムシ類などの鱗翅目害虫と吸汁性害虫のアブラムシ類やコナジラミ類に高い防除効果があります。また、従来剤(有機リン剤・カーバメイト剤・合成ピレスロイド剤など)に抵抗性のある害虫にも有効です。
- 2. 優れた浸透移行性と残効性**
残効性に優れ、強い浸透性(植物の中に入り込む力)がありますので、葉の中のハモグリガ類にも有効です。また、十分な浸透移行性により、多少の散布ムラがあっても、作物全体を害虫の被害から守ります。
- 3. ハチへの影響が少なく、施設栽培に最適**
ミツバチ・マルハナバチへの影響が少ないことから、これらを受粉に利用する施設栽培でもアブラムシ類・コナジラミ類などの防除が可能です。
- 4. ほ乳動物・魚介類に対する高い安全性と環境への低負荷**
害虫に対して高い活性を持ちながらも、温血動物を含む高等動物に対しては安全性の高い薬剤です。また、散布後、土壌に落ちた薬剤はすみやかに分解されますので、環境負荷の低減という点でも優れています。
- 5. 使いやすい顆粒水和剤**
粉立ちしない顆粒タイプで、使用者に対して被爆の少ない薬剤です。また、計量しやすく溶けやすいので、希釈も簡単です。

粉立ちがなく水に溶けやすい顆粒水和剤です。



■適用害虫および使用方法

(2005年6月現在の登録)

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	10アール当り使用液量(ℓ)	使用時期*	総使用回数*	使用方法
りんご	カメムシ類	2,000	200~700	7日	3回	散布
	アブラムシ類	4,000				
	シンクイムシ類	2,000~4,000				
	キンモンホソガ	4,000				
	ギンモンハモグリガ					
	コナカイガラムシ類					
なし	アブラムシ類	2,000~4,000	7日	3回	散布	
	シンクイムシ類					
	クワコナカイガラムシ					
もも	アブラムシ類	2,000~4,000	7日	3回	散布	
	シンクイムシ類					
すもも	モモノゴマダラノメイガ	4,000	7日	3回	散布	
	アブラムシ類					
うめ	アブラムシ類	4,000	7日	3回	散布	
	アブラムシ類					
おうとう	オウトウショウジョウバエ	2,000	7日	3回	散布	
	アブラムシ類					
ぶどう	チャノキロアザミウマ	4,000	7日	3回	散布	
	コナカイガラムシ類					
メロン	ウリノメイガ	2,000	100~300	前日	3回	散布
	アブラムシ類					
	ミナミキロアザミウマ					
	シルバーリーフコナジラミ					
いちご	アブラムシ類	4,000	100~300	前日	3回	散布
	アブラムシ類					
すいか	アブラムシ類	4,000	100~300	前日	3回	散布
	アブラムシ類					
ピーマン	アブラムシ類	4,000	100~300	前日	3回	散布
	アブラムシ類					
なす	オンシツコナジラミ	4,000	100~300	前日	3回	散布
	アブラムシ類					
トマト	タバココナジラミ	4,000	100~300	前日	3回	散布
	シルバーリーフコナジラミ					
ばれいしょ	アブラムシ類	4,000	100~300	7日	3回	散布
茶	チャノミドリヒメヨコバイ	2,000~4,000	200~400	7日	1回	散布
	チャノキロアザミウマ					
	チャノホソガ					

*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫(摘採)前の日数と、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

■使用上の注意事項

- ネクタリンおよびすももでは品種により、葉に薬害(軽い穴あき症状)を生ずることがありますので注意して下さい。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節して下さい。
- 蚕に対して長期間毒性がありますので、桑に付着する恐れのある場所では使用を避けて下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量・使用時期・使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所など関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使い切して下さい。

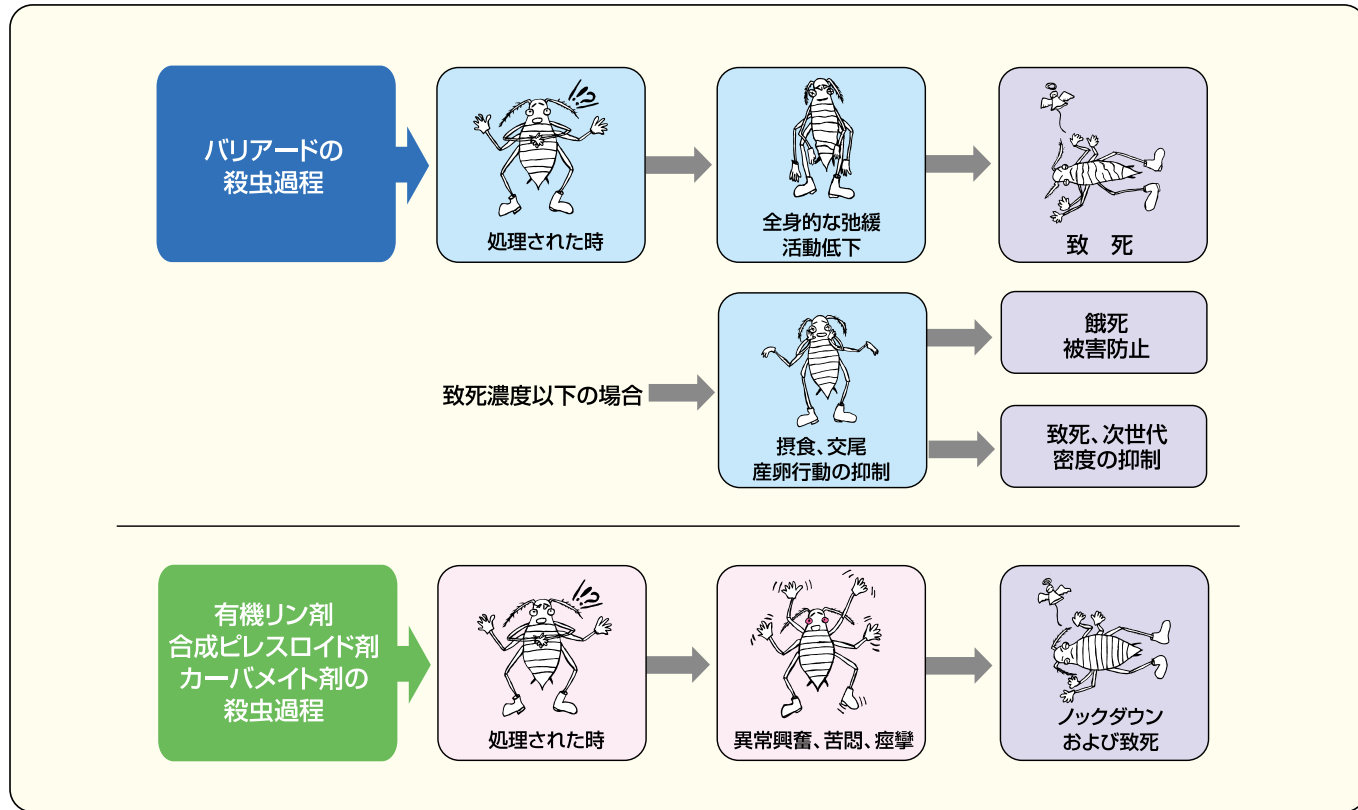
■安全使用上の注意

- 医薬用外劇物。取扱いには十分注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- 希釈前の薬剤は眼に対して刺激性がありますので、眼に入らないように注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗いし、眼科医の手当てを受けて下さい。
- 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用して下さい。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして下さい。

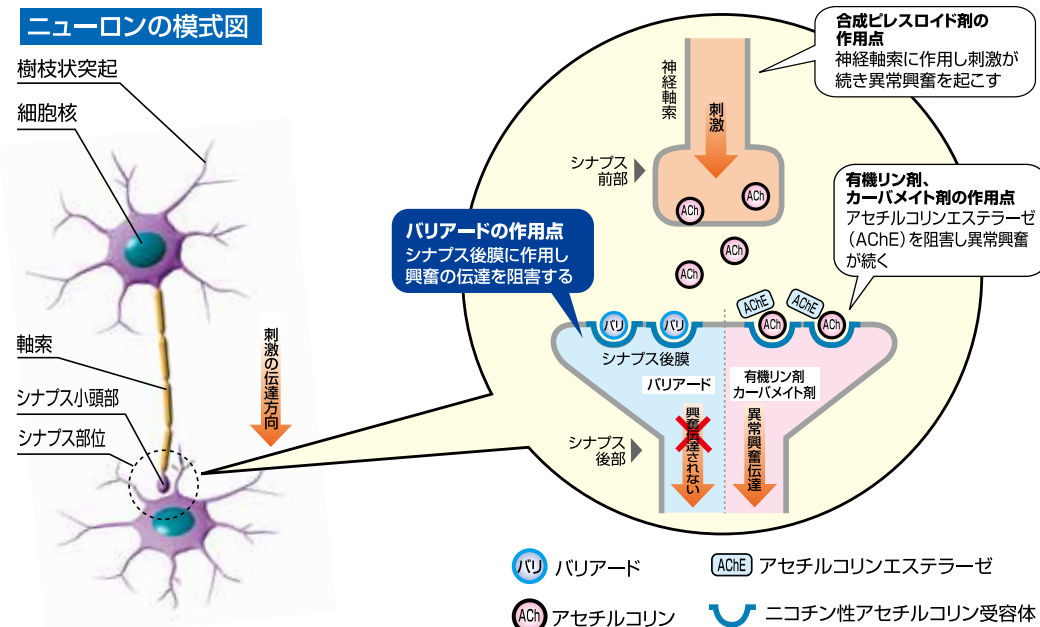
殺虫過程

本剤はシナプス後膜に作用し神経伝達を遮断することにより殺虫活性を示します。また、低濃度で全身的な麻痺、弛緩、活動性の低下が長時間観察されます。使用濃度範囲内では速やかに殺虫効果を示しますが、致死濃度以下では制虫剤的に作用するため圃場において本剤は極めて長い残効性を発揮します。

本剤の制虫剤的な作用とは運動能力の失調に起因し一般的には摂食、吸汁行動や歩行、飛翔行動に異常を示すとともに交尾、産卵行動なども影響を示します。



神経の伝達と殺虫作用



有効害虫スペクトラム

スクリーニング、社内試験、委託試験などで、各種害虫に対して散布処理で以下のような活性が認められております。

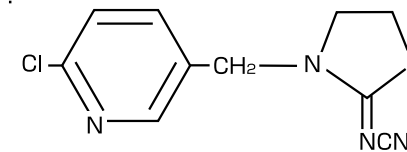
害虫名	効果	害虫名	効果	害虫名	効果
アブラムシ類	◎	キンモンホソガ	◎	チャノキイロアザミウマ	◎
コナジラミ類	◎	ギンモンハモグリガ	◎	ヒラズハナアザミウマ	×
ツツジグンバイ	◎	モモハモグリガ	◎	ミカンキイロアザミウマ	×
フタテンヒメコバイ	◎	ミカンハモグリガ	◎	ゴマダラカミキリ	◎
チャノミドリヨコバイ	◎	チャノホソガ	◎	コガネムシ類成虫	◎
コナカイガラムシ類	◎	コナガ	○～△	ハダニ類	×
カイガラムシ類	△	アオムシ	◎	サビダニ類	×
シンクイムシ類	◎	ハスモンヨトウ	×	ホコリダニ類	×
リンゴコカクモンハマキ	○	ミナミキイロアザミウマ	◎		

◎：高い効果を示す ○：実用的な効果を示す △：副次的な効果はある ×：効果なし

バリアード顆粒水和剤は、従来のネオニコチノイド剤と比べて、特に果樹のシンクイムシ類・コナカイガラムシ類に卓効を示す薬剤です。

物理的・化学的性質

- 名称および化学構造
商品名：バリアード顆粒水和剤 (Bariard WG)
一般名：チアクロプリド (thiacloprid)
試験名：0831水和顆粒
製剤：30%水和剤
化学名：3-(6-クロロ-3-ピリジルメチル)-1,3-チアゾリジン-2-イルイデンシアナミド (IUPAC 命名法)
構造式：



- 原体の物理的・化学的性質
分子式：C₁₀H₉ClN₄S
分子量：252.8g/mol
比重：1.46g/ml (20℃)
臭気：無臭
融点：136℃
蒸気圧：3×10⁻¹²hPa (20℃)
溶解度 (g/l 20℃)：
水……………0.185 (pH4~9)
キシレン……………0.30
アセトン……………64
酢酸エチル……………9.4
オクタノール……………1.4
2-プロパノール……………3.0
アセトニトリル……………52

安全性 (製剤)

- 人畜毒性 劇物
急性経口毒性 (LD₅₀)
ラット ♂ 978mg/kg
ラット ♀ 981mg/kg
マウス ♂ 804mg/kg
マウス ♀ 797mg/kg
急性経皮毒性 (LD₅₀)
ラット ♂ >2,000mg/kg
ラット ♀ >2,000mg/kg
眼刺激性 ウサギ 軽度の刺激性
皮膚刺激性 ウサギ 刺激性なし
皮膚感受性 モルモット 感受性なし
- 有用動植物および環境に対する影響
魚毒性 A類相当
コイ (LC₅₀) (96時間) 255mg/l
ミジンコ (LC₅₀) (48時間) 210mg/l
鳥類への影響 (原体)
急性経口毒性 (LD₅₀) ウズラ >2,716mg/kg

■混用事例：果樹・茶

作物名	りんご	なし	もも	うめ	ぶどう	すもも	茶
殺虫剤							
アタポン乳剤							●
アーデント水和剤			●				
アブロード水和剤			●				
アブロードフロアブル		●		●			
エイカール乳剤		●					
オオナタフロアブル		●					
オサダン水和剤			●				
オマイト水和剤	●						
カスケード乳剤							●
カネマイトフロアブル	●						
コテツフロアブル	●						●
コロマイト乳剤	●						
コロマイト水和剤	●	●					
スプラサイド乳剤							●
タイタロンフロアブル	●						
ターズバン乳剤							●
ダニトロンフロアブル		●	●				
トクチオン乳剤							●
ニッランV乳剤							●
ハチハチ乳剤							●
ハチハチフロアブル		●					
バロックフロアブル	●	●	●				●
ピラニカ水和剤	●	●	●				
マイククリーンフロアブル	●	●					
マイトコーネフロアブル	●						●
マブリックEW			●				
ミルベノック乳剤							●
ランベック乳剤				●			
ロムダンフロアブル							●
殺菌剤							
アグリマイシン100水和剤			●	●			
アミスター10フロアブル			●		●		
アリエッティ水和剤					●		
アリエッティC水和剤	●	●			●		
アントラコール顆粒水和剤	●	●					
アンビルフロアブル	●	●	●				
イオウフロアブル				●			
インダーフロアブル		●	●		●		●
オーソサイド水和剤	●	●					
オンリーワンフロアブル			●				●
カスミンボルドー水和剤							●
キャプタン・有機銅水和剤		●					
キャブレート水和剤		●					
コサイドボルドー水和剤							●
サニパー水和剤		●	●	●			
サンリット水和剤							●
ジマンダイセン水和剤	●				●		
水和硫黄フロアブル・ゾル					●		
スイッチ顆粒水和剤					●		
スカーラフロアブル					●		
スコア水和剤	●	●					●
スコアM2水和剤	●						
ストロビーフロアブル							●
ストロビーDF	●			●			
ストフトマイシン剤(水・液)				●			
スパットサイド水和剤							●
スミレックス水和剤							●
ダイボルト・バルノックス水和剤	●	●	●				
ダコニール1000フロアブル					●		●
ダコレート水和剤					●		
ダコレックス水和剤					●		
デランフロアブル	●	●	●	●			
トップジンM水和剤	●	●			●		
トリフミン水和剤					●		●
バイコラル水和剤	●	●	●	●			
バイレトン水和剤5	●	●					●
バイレトン水和剤25	●	●					●
パスワード顆粒水和剤			●		●		

作物名	りんご	なし	もも	うめ	ぶどう	すもも	茶
バスポートフロアブル	●						
ビスダイセン水和剤		●	●	●			
フジオキシラン水和剤	●	●					
ブラウ水和剤	●	●					
フリントフロアブル	●						●
フルトップDF	●						
フルピカフロアブル					●		
フロンサイド水和剤	●						
フロンサイドフロアブル	●	●					●
ベフドー水和剤							●
ベフラン液剤	●						
ベルコート水和剤		●	●	●			●
ベンレート水和剤		●					●
ホライズンDF					●		
ポリオキシンAL水和剤	●	●					
ポリペリン水和剤		●					
ボルドー液		●					
マイコシールド水和剤			●	●			
マネーシ水和剤			●	●			●
有機銅フロアブル	●	●					
有機銅水和剤	●						
ユニックス顆粒水和剤	●						
ユニックスZ水和剤	●						
ラリー水和剤		●					●
ロブラール水和剤	●	●	●		●	●	
Zボルドー							●
展着剤							
クレフノン	●						

●ネクタリンおよびすももでは品種により葉に葉害(軽い穴あき症状)を生ずることがあるので注意して下さい。

■混用事例：野菜

作物名	トマト	なす	ピーマン	いちご	メロン	すいか	ばれいしょ
殺虫剤							
アグロスリン水和剤			●		●		
アーデント水和剤				●		●	
アフーム乳剤			●			●	
オサダン水和剤			●				
オサダンフロアブル			●				
カスケード乳剤	●		●	●			
コテツフロアブル		●			●		
コロマイト乳剤	●						
コロマイト水和剤		●					
サンマイトフロアブル				●			
ジェイエース水溶剤	●	●					
スピノエース顆粒水和剤	●						
ダニトロンフロアブル			●	●	●	●	
トルネードフロアブル	●		●				
ニッラン水和剤			●				
ハチハチ乳剤	●	●					
バロックフロアブル		●		●	●	●	
ピラニカEW				●			
ホルスター乳剤			●				
マイトコーネフロアブル	●	●					
マブリック水和剤			●				
マラソン乳剤				●			
ラービフロアブル				●			
殺菌剤							
アグリマイシン100							●
アミスター20フロアブル				●	●	●	
アリエッティ水和剤					●		
アントラコール顆粒水和剤				●		●	
オーソサイド水和剤	●			●		●	
カスミンボルドー水和剤	●	●					

■作物への安全性

以下の適用作物の品種に対して、葉害は認められていません。

作物	品種名
りんご	つがる、ふじ、王林、スターキング、デリシャス、ジョナゴールド、陽光、紅玉、世界一、千秋、さんざ、金星、陸奥、国光、きおう
なし	幸水、豊水、新水、二十世紀、新興、新高、長十郎
西洋なし	ラ・フランス、マルゲリット・マリエラ、フレミッシュ・ビューティー
もも	あかつき、川中島白桃、ゆうぞら、日川白鳳、加納岩白桃、長沢白鳳、黎明、晶玉、メイブランド、八幡白鳳、武井早生白鳳、志賀白桃、甘露早生、橋場白桃、武井白鳳、ちよひめ、缶桃
うめ	紅サシ、南高、玉英、鶯宿、白加賀、古城、甲州小梅、竜峡、黄金梅
おうとう	佐藤錦、ナポレオン、香夏錦、高砂、紅秀峰
すもも	ケルシー、月光、紅りょうぜん、サンタローズ、貴陽
ぶどう	デラウェア、巨峰、藤稔、マスカット・オブ・アレキサンダリア
すいか	縞王マックス、日章、縞王、マダーボール、夜空、天竜2号
ばれいしょ	紅丸、男爵、メークイン、恵庭、デジマ
メロン	セーヌ、ナイト、ティファニー、レッドエース、アールスナイト、アールスロイス、サンデー盛夏、ベネチア秋冬2号、アールスセイヌ秋冬Ⅱ、アールスセイヌ夏Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、クインシー、アールスセイヌ春夏Ⅱ、札幌レッドE、ベネチア、アールスフェボリット、網干メロン、雅、アールスターリン春夏
トマト	桃太郎、豊電、サンロード、ミニキャロル、瑞健
ピーマン	土佐姫、みはた1号、京ゆたか、ニューエース、京みどり、土佐ひかり
なす	竜馬、はやぶさ、くろべえ、千両2号、黒陽
いちご	女峰、とちおとめ、はるよい、とよのか、章姫
茶	やぶきた、おくみどり、おくゆたか、かなやみどり、さやまかおり、めいりよく、ゆたかみどり、うじみどり、さみどりたちほ、ごころ

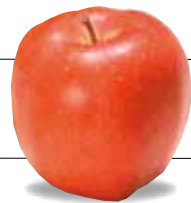
■周辺作物への安全性

以下の作物に対して、2,000倍液散布で葉害は認められていません。

小麦(チホク)	かんきつ(ネーブル、新甘夏、宮内とうもろこし(ピーターコーン)
とうもろこし(ピーターコーン)	伊予柑、ボンカン、土佐ぶたん、さつまいも(高系14号)
はっさく(55号)	はっさく(55号)
さといも(石川早生)	キウイ(ヘイワード)
やまのいも(十勝選抜系)	たばこ(黄色1号)
大豆(早生千鳥)	てんさい(メロディ、ハンナ)
小豆(エリモショウス)	こんにゃく(はるな黒)
キャベツ(YR快寿)	菊(童歌)
はくさい(春駒)	カーネーション(ジャンボジャイアント)
だいこん(耐病総太り)	ばら(カリネラ)
ねぎ(吉蔵)	ゆり(ホワイトシルバー)
にんじん(向陽2号)	ガーベラ(スカーレット)
ごぼう(柳川理想)	
レタス(シスコ)	

※この表はバリアード顆粒水和剤と混用散布した結果、観察で葉害症状が認められなかった薬剤リストです。
 ※限られた品種と時期・濃度・場所で試験を行なっておりますので、すべての条件においてこの結果が再現できるものではありません。
 したがって、この表で●になっていても、これらの混用によって「葉害がない」ということを保証するものではなく、あくまで目安としてご使用下さい。

りんごに バリアード



有機リン系殺虫剤

バリアード顆粒水和剤はシンクイムシ類に対し高い食入防止効果があり、発生回数の多いキンモンホソガに幅広い散布適期幅があります。また、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類や葉を巻くタイプのアブラムシ類にも高い効果があります。これらの発生期に合わせ、他の害虫の同時防除を狙って次のような使用時期が考えられます。

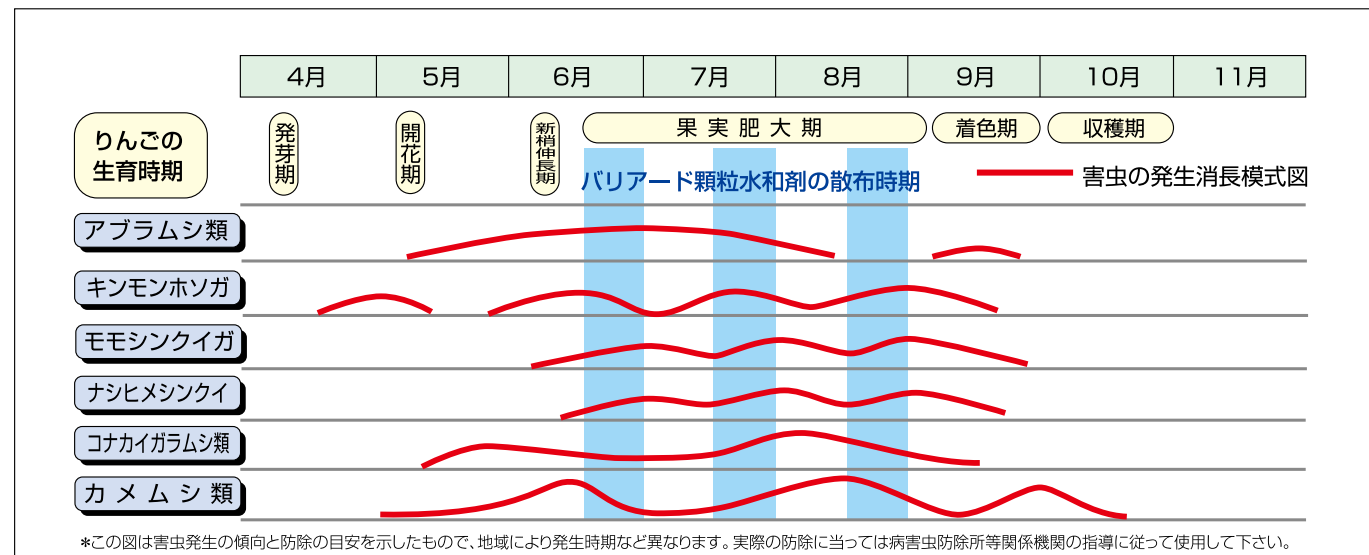


キンモンホソガ

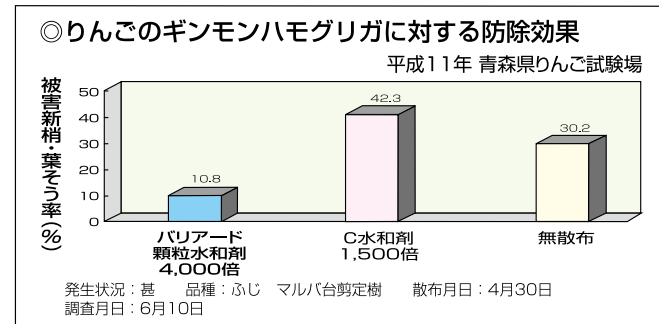
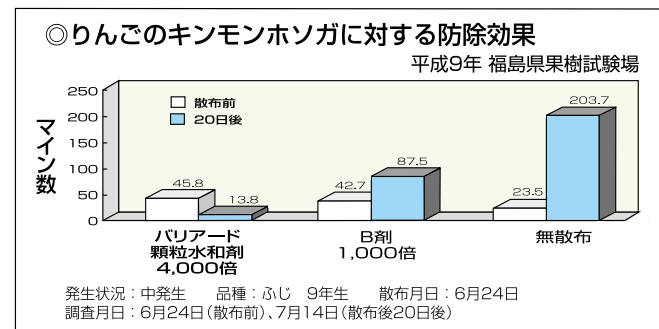
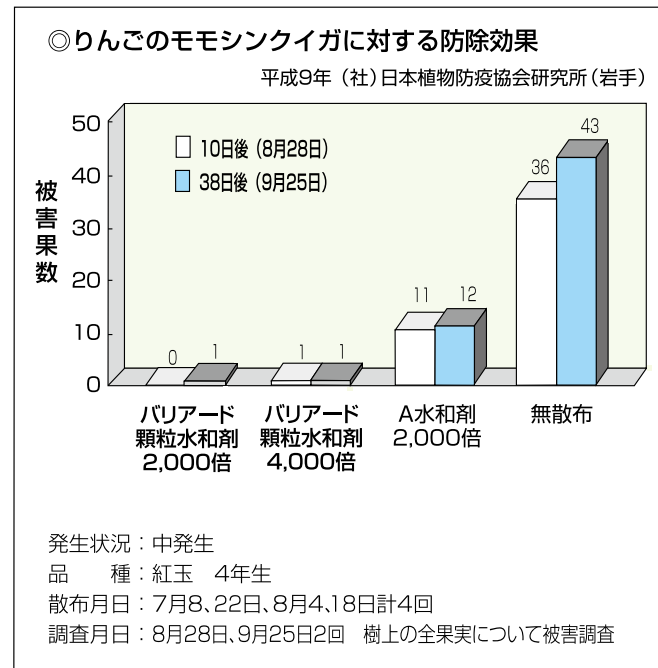
■使用適期

- ①シンクイムシ類の食入防止効果とアブラムシ類の発生盛期を狙った6月中・下旬
- ②キンモンホソガの発生盛期とアブラムシ類、シンクイムシ類、コナカイガラムシ類の同時防除を狙った7月中・下旬
- ③薬害の心配がなく、ダニ類のリサージェンスが少ないので後半のシンクイムシ類防除を狙った8月中・下旬

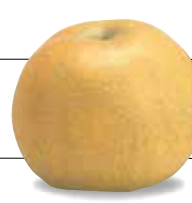
■りんごの害虫発生時期と防除時期



■試験成績



なしに バリアード



有機リン系殺虫剤

バリアード顆粒水和剤はシンクイムシ類に対し高い食入防止効果があり、また、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類や葉を巻くタイプのアブラムシ類にも高い効果があります。これらの発生期に合わせ、他の害虫の同時防除を狙って次のような使用時期が考えられます。

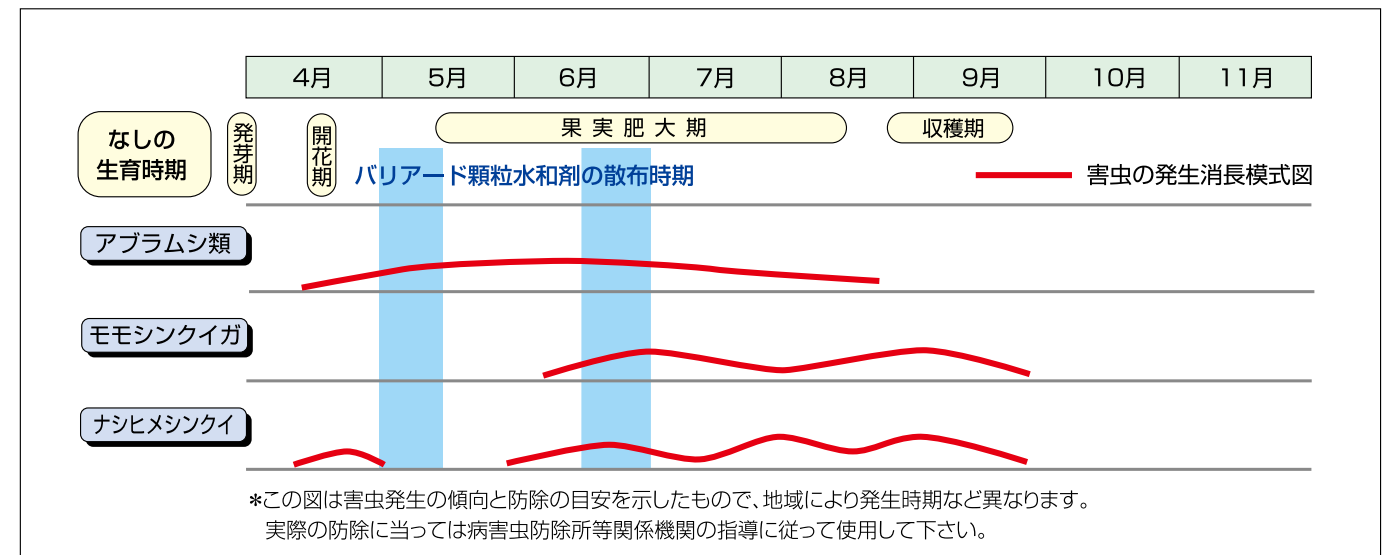


ナシヒメシンクイ

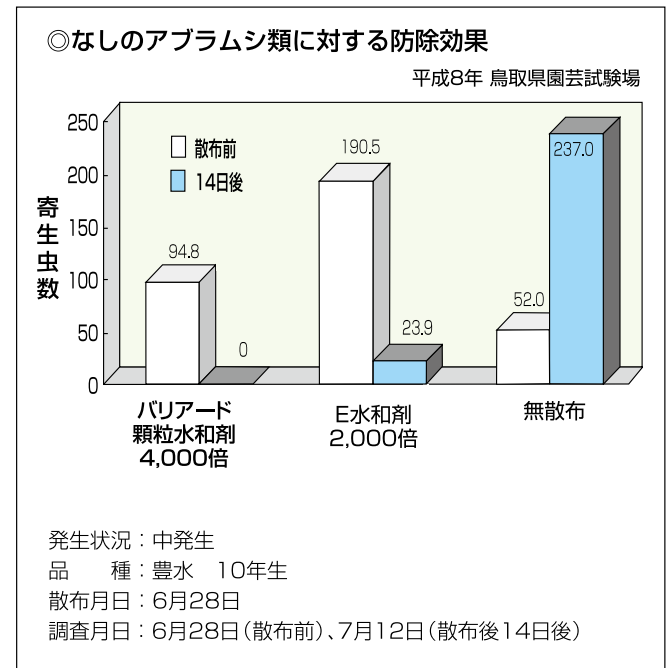
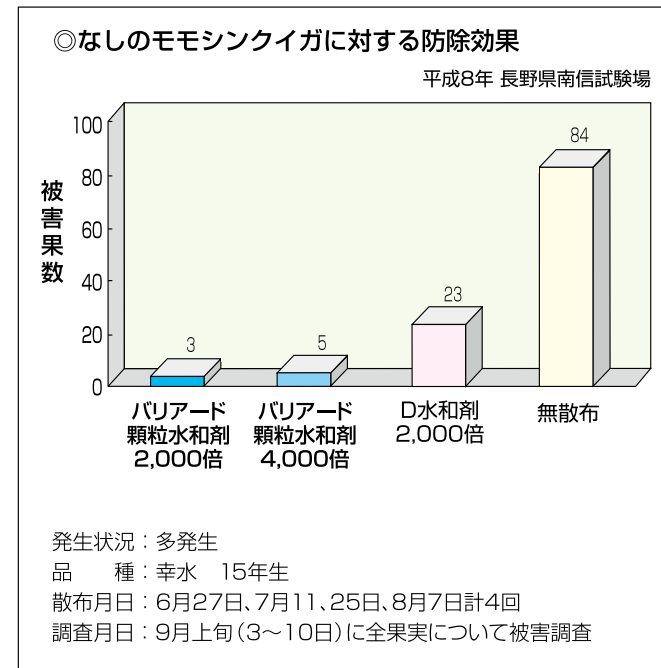
■使用適期

- ①シンクイムシ類の食入防止効果とアブラムシ類の増殖期を狙った5月上・中旬
- ②アブラムシの増殖期とシンクイムシ類、コナカイガラムシ類の同時防除を狙った6月中・下旬

■なしの害虫発生時期と防除時期



■試験成績



ももに



バリアード

オゾン系/1代新殺虫剤

バリアード顆粒水和剤はシンクイムシ類に対し高い食入防止効果があり、発生回数が多いモモハモグリガにも優れた効果と幅広い散布適期幅があります。また、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類や葉を巻くタイプのアブラムシ類にも高い効果があります。これらの発生期に合わせ、他の害虫の同時防除を狙って次のような使用時期が考えられます。



モモハモグリガ

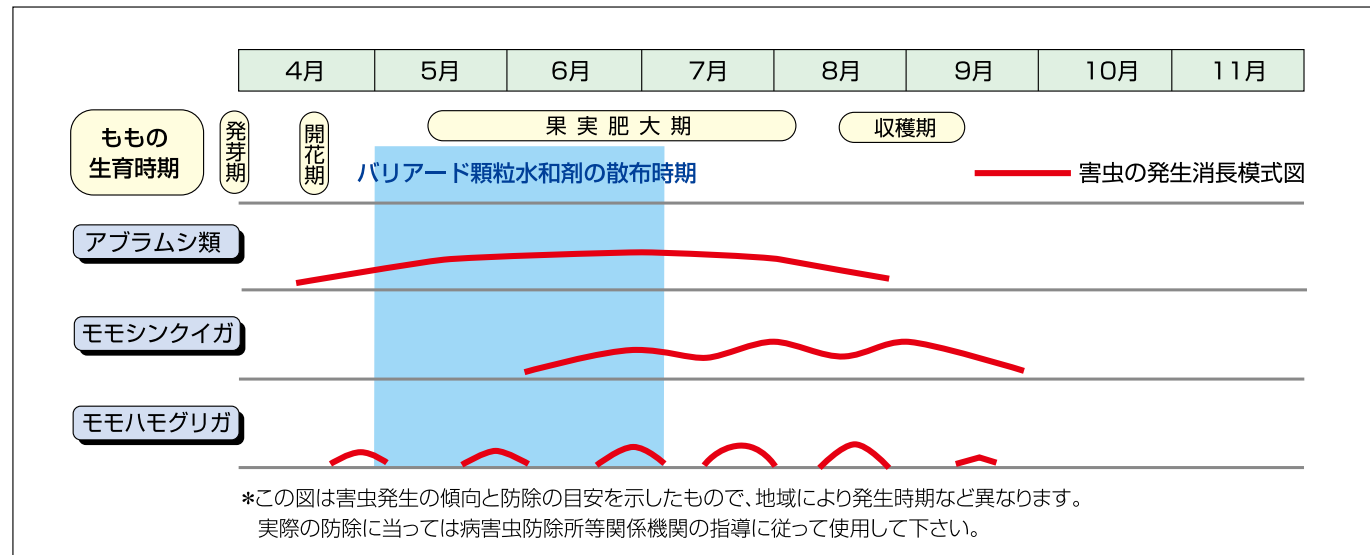


モモシンクイガ

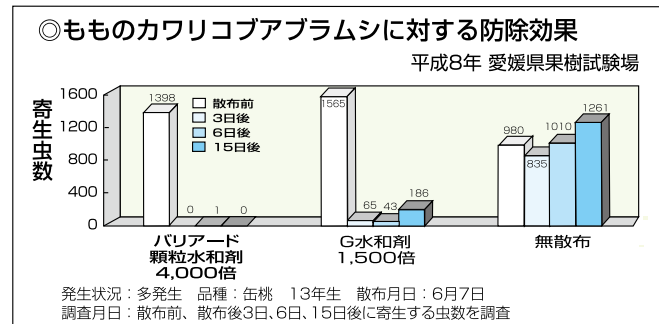
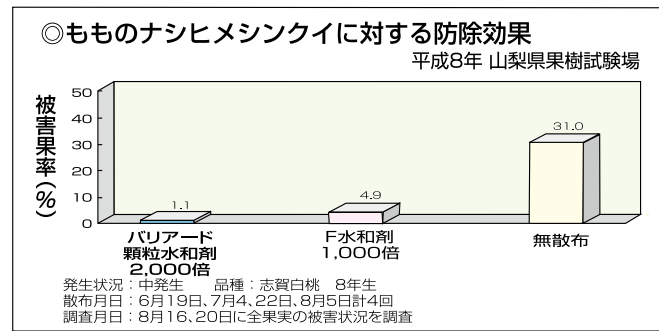
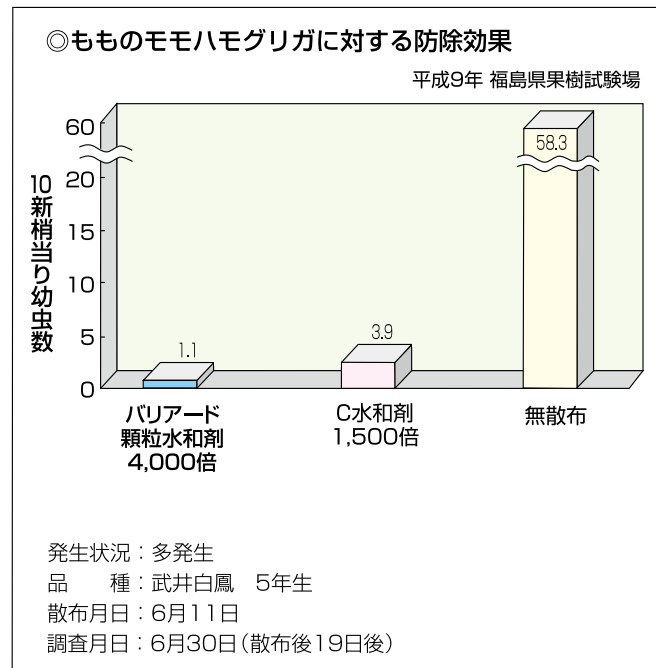
■使用適期

アブラムシ類の増殖期とモモハモグリガ、シンクイムシ類の同時防除を狙った5月から6月。

■ももの害虫発生時期と防除時期



■試験成績



うめに



バリアード

オゾン系/1代新殺虫剤

バリアード顆粒水和剤は各種のアブラムシ類に高い活性があり、また、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類や葉を巻くタイプのアブラムシ類にも高い効果があります。

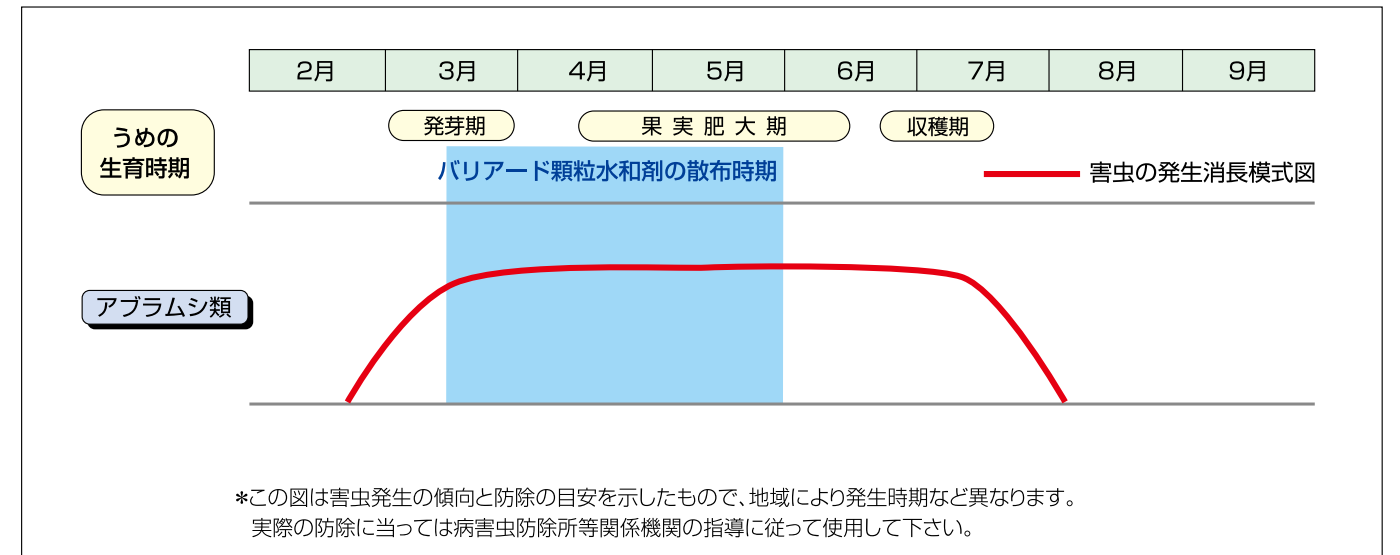


モモアカアブラムシ

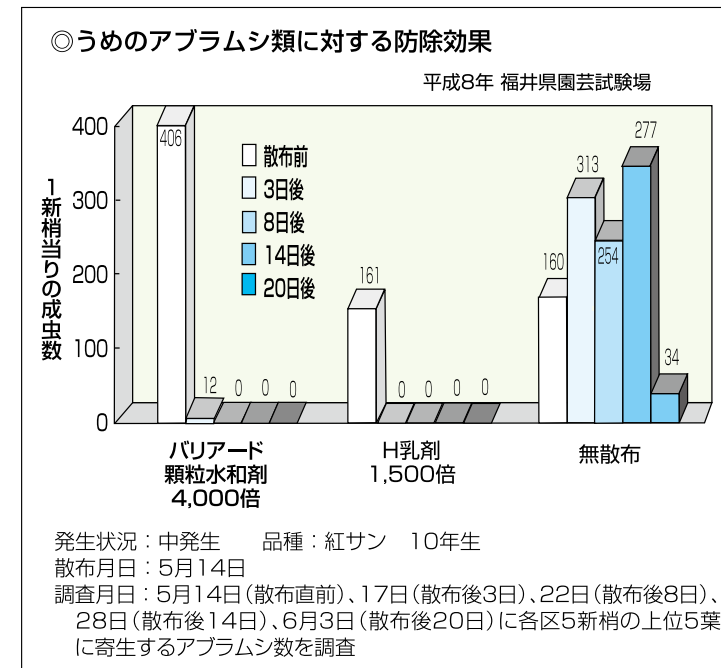
■使用適期

アブラムシ類の防除は発芽期の初期防除が大切です。また、収穫前の果実肥大期の防除が重要です。

■うめのアブラムシ類の発生時期と防除時期



■試験成績



おうとうに バリアード

バリアード顆粒水和剤はおうとうの果実に甚大な被害を与えるオウトウショウジョウバエに優れた効果を示します。オウトウショウジョウバエは成虫が成熟果の果肉に産卵し、孵化幼虫は果肉を食害します。

この成虫防除を狙って次のような使用時期が考えられます。

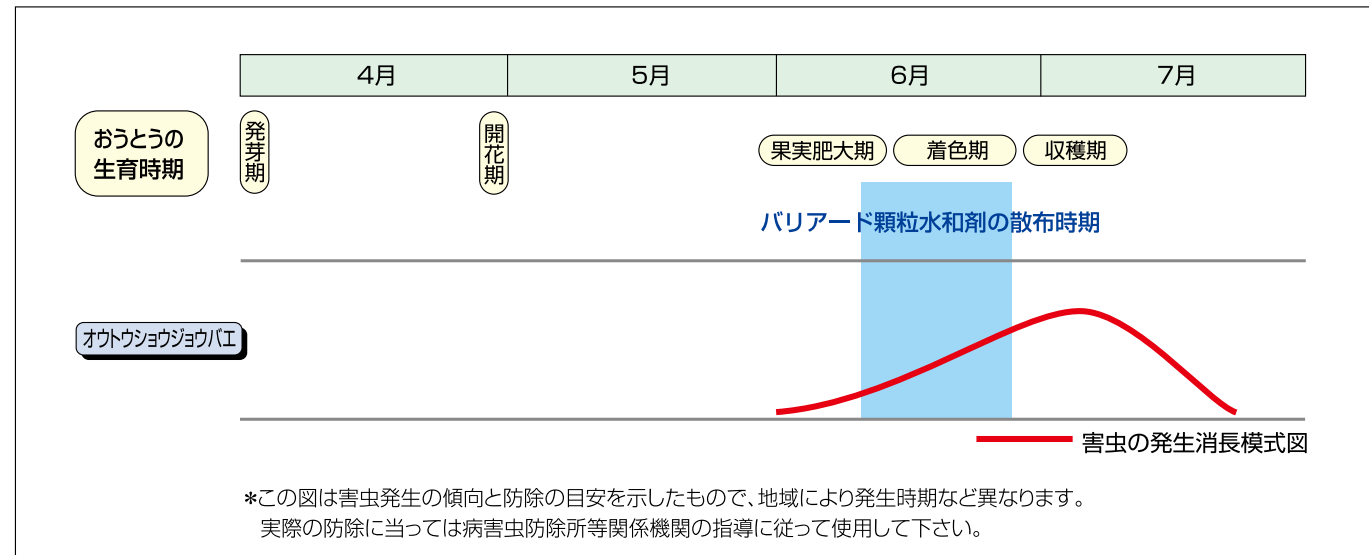
■使用適期

- ①着色期から収穫期にかけての果実成熟期に1～2回散布する。

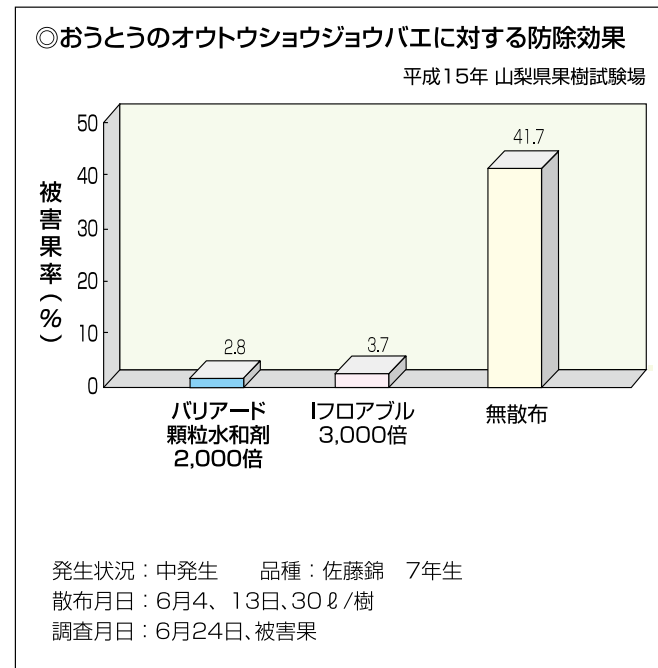


オウトウショウジョウバエ

■おうとうの害虫発生時期と防除時期



■試験成績



ぶどうに バリアード

バリアード顆粒水和剤はチャノキイロアザミウマに対し高い防除効果があり、クワコナカイガラムシ、フジコナカイガラムシなどのコナカイガラムシ類に対しても優れた効果を示します。これらの発生期に合わせ、次のような使用時期が考えられます。

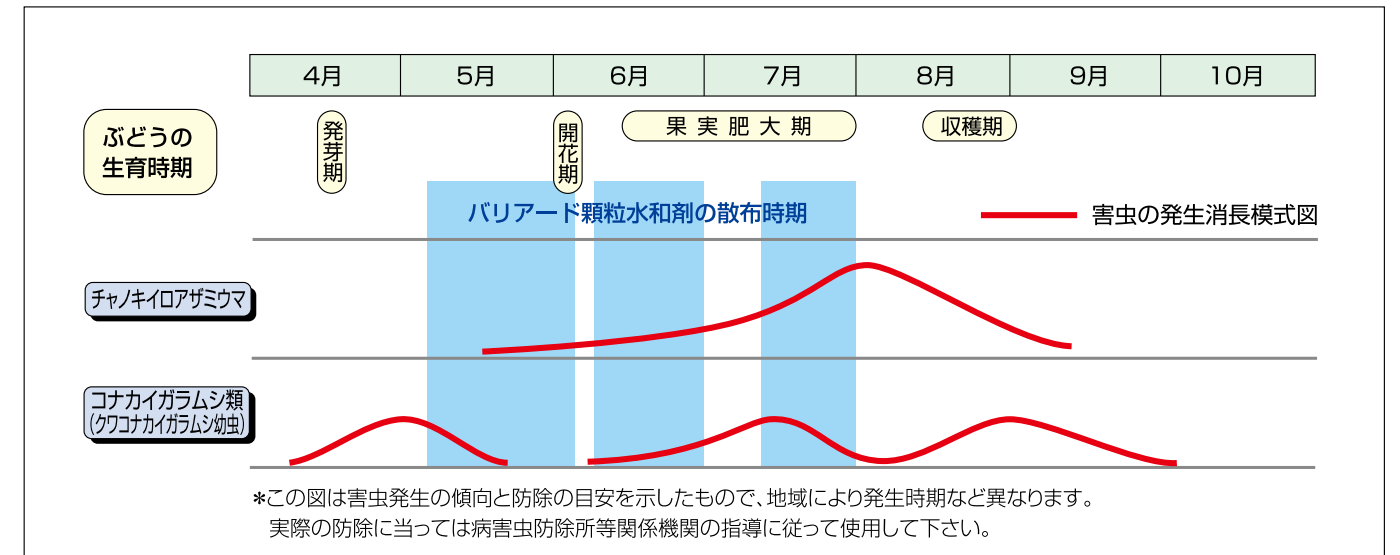
■使用適期

- ①新梢や葉裏への移動が終わるクワコナカイガラムシ類の幼虫、チャノキイロアザミウマの開花期での防除を狙った5月中～6月上旬
- ②チャノキイロアザミウマの幼果への被害防止を狙った6月中・下旬
- ③コナカイガラムシ、チャノキイロアザミウマの同時防除を狙った7月中・下旬

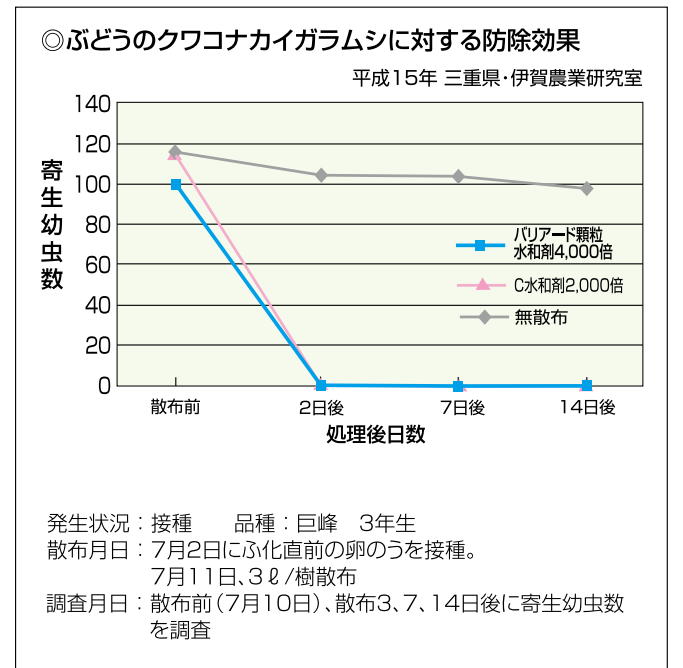
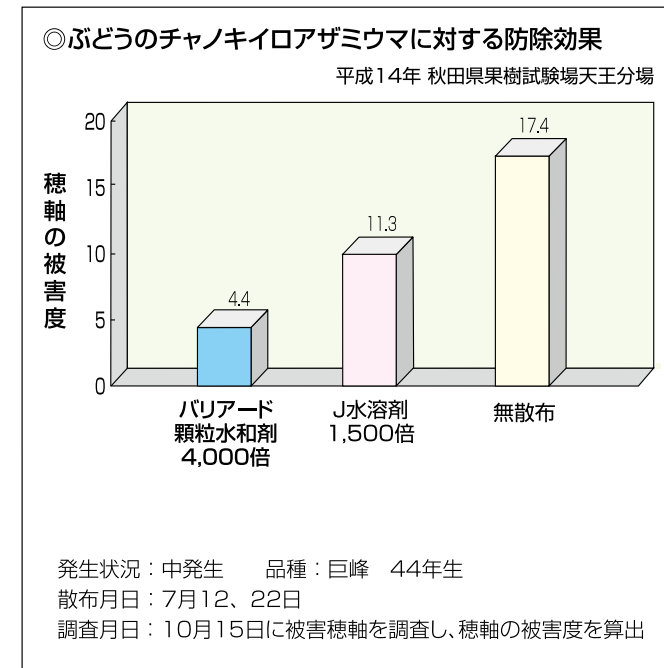


チャノキイロアザミウマ

■ぶどうの害虫発生時期と防除時期



■試験成績



いちごに バリアード

オオコナジラミ
殺虫剤

バリアード顆粒水和剤は各種のアブラムシ類に高い殺虫効果があり、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類にも優れた効果があります。

いちごに付くアブラムシ類はワタアブラムシ、イチゴネアブラムシなど種類が多く、収穫期には果房を中心に発生し果実に吸汁害と汚れの被害を起こします。

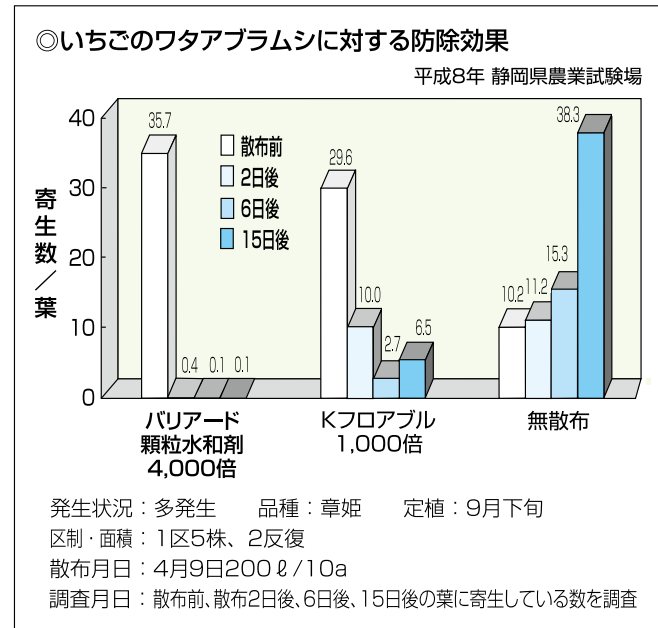
この時期は受粉のためのミツバチ放飼と収穫が重なり薬剤選定は重要となります。バリアード顆粒水和剤は散布翌日の放飼が可能で、使用時期も収穫前日まで使用できるのでいちごのアブラムシ類防除の散布剤として最適です。

他の作物と同様、初期防除が大切で、アドマイヤー1粒剤の0.5g/株処理との組み合わせをお薦めします。(この場合、ミツバチ放飼は定植後30日以降が可能です。)



ワタアブラムシ

試験成績



有用昆虫に対する安全性

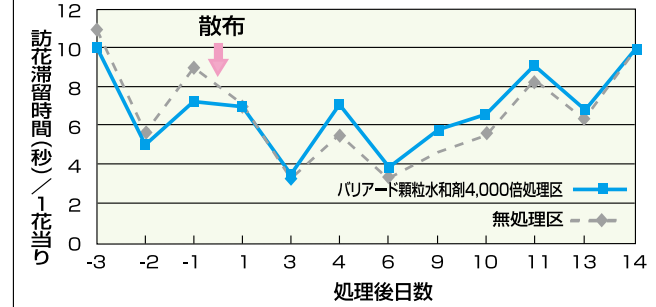
ミツバチ 散布翌日からの放飼が可能です。
マルハナバチ 散布翌日からの放飼が可能です。
マメコバチ 実用濃度の直接散布では影響があるので注意して下さい。

●ミツバチ・マルハナバチへの影響が少ないので、施設栽培に使いやすい薬剤です。

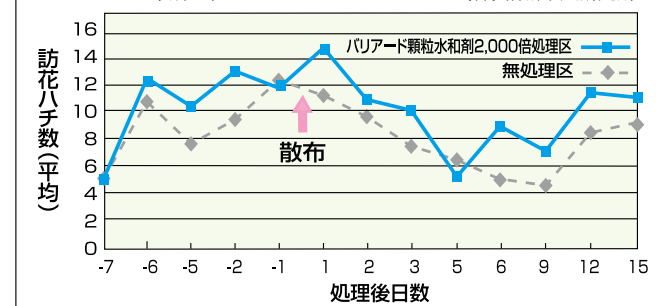
◎ミツバチに対する殺虫活性(室内試験)
バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所

有効成分濃度 (ppm)	死虫率 (%)	
	バリアード顆粒水和剤	同系統A剤
100	10	20
10	0	0
1	0	0

◎ミツバチの訪花時間に及ぼす影響(いちご)
平成8年 バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所



◎マルハナバチの訪花活動に及ぼす影響(施設トマト)
平成9年 バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所



◎蚕に対しては、社内試験や委託試験の結果より、桑葉にバリアード顆粒水和剤の散布液がかかった場合は、60日以上の影響が確認されております。

トマト・ピーマン・なすに バリアード

オオコナジラミ
殺虫剤

バリアード顆粒水和剤は各種のアブラムシ類に高い殺虫効果があり、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類にも優れた効果があります。

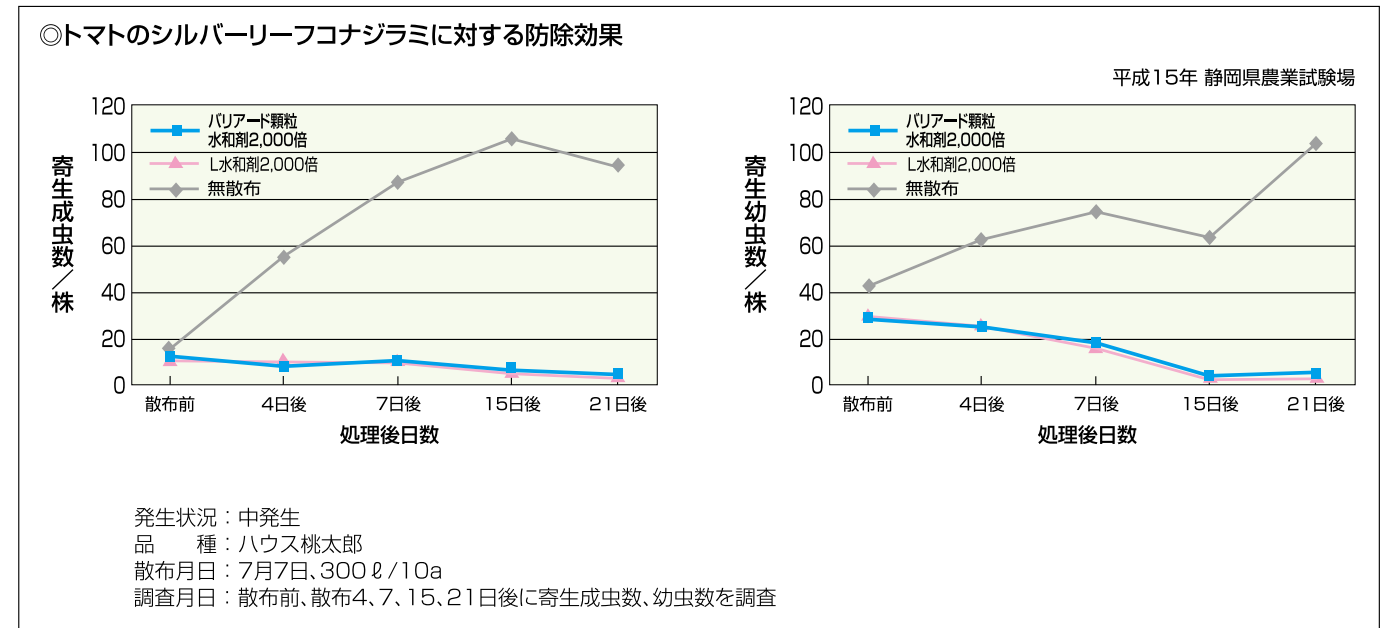
果菜類にはワタアブラムシ、モモアカアブラムシ、ジャガイモヒゲナガアブラムシなどの種類が多く、ウイルス病の媒介やすす病の発生がみられます。発生状況を見ながら生育期から収穫期に定期的な散布が必要です。バリアード顆粒水和剤は浸透性に優れ葉裏のアブラムシ類にも効果があります。また、なすのオンシツコナジラミ、トマトのタバココナジラミ、現在発生地域が拡大している難防除害虫であるシルバーリーフコナジラミに対しても優れた効果を示します。

果菜類の施設栽培では受粉のためのミツバチ、マルハナバチの放飼が多く、収穫時期が重なり薬剤選定は重要ですが、バリアード顆粒水和剤は散布翌日の放飼が可能で、時期も収穫前日まで使用できるので果菜類の害虫防除の散布剤として最適です。

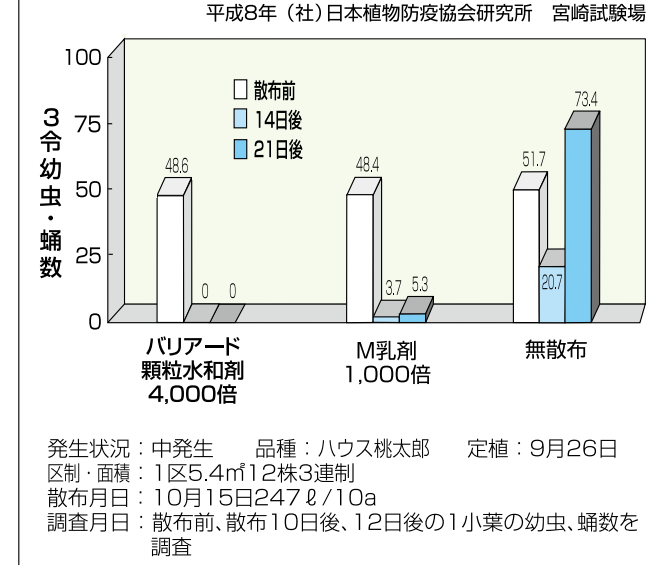


シルバーリーフコナジラミ

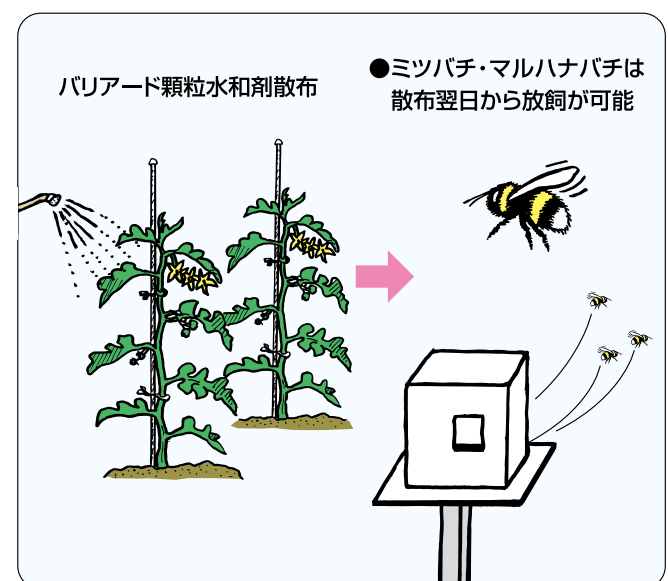
試験成績



◎トマトのタバココナジラミに対する防除効果
平成8年 (社)日本植物防疫協会研究所 宮崎試験場



施設栽培での使い方



メロン・すいかに



バリアード

メロン・すいかに
殺虫剤

バリアード顆粒水和剤は各種のアブラムシ類に高い殺虫効果があり、有機リン剤や合成ピレスロイド剤などに抵抗性のアブラムシ類にも優れた効果があります。

ワタアブラムシを始めアブラムシ類には種類が多く、ウイルス病の媒介やすす病の発生が見られます。発生状況を見ながら生育期から収穫期に定期的な散布が必要です。浸透性に優れていますので、葉裏のアブラムシ類にも有効です。

また、バリアード顆粒水和剤はメロンのウリノメイガ、ミナミキイロアザミウマ、シルバーリーフコナジラミに対しても優れた効果を示します。

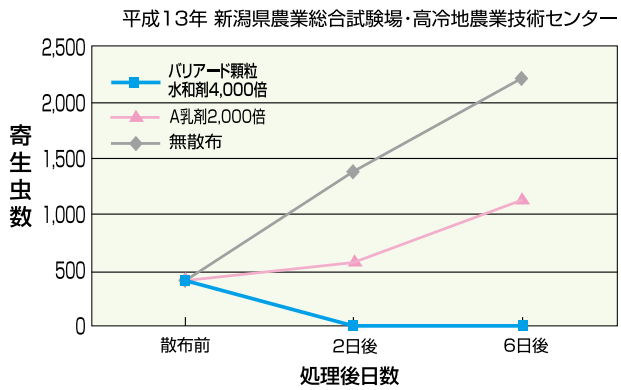
メロン、すいかともに収穫前日まで使用できます。



ワタアブラムシ

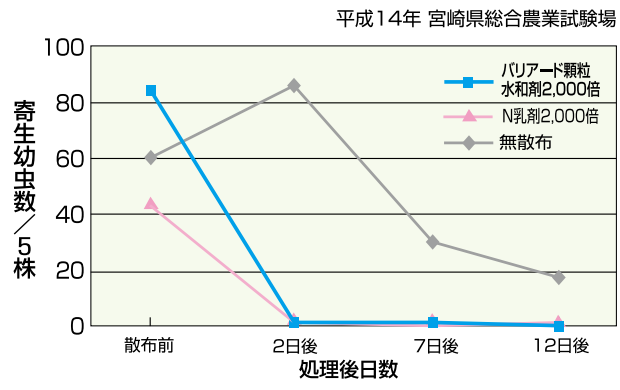
試験成績

◎すいかのアブラムシ類に対する防除効果



発生状況：多発生（優占種/ワタアブラムシ）
品 種：日章
定 植：5月29日
散布月日：8月1日
調査月日：散布前、散布2、6日後に寄生虫数

◎メロンのワタヘリクロノメイガに対する防除効果



発生状況：多発生
品 種：アールセイヌ夏Ⅲ
散布月日：7月24日、十分量
調査月日：散布直前、散布2、7、12日後に寄生幼虫数

茶に



バリアード

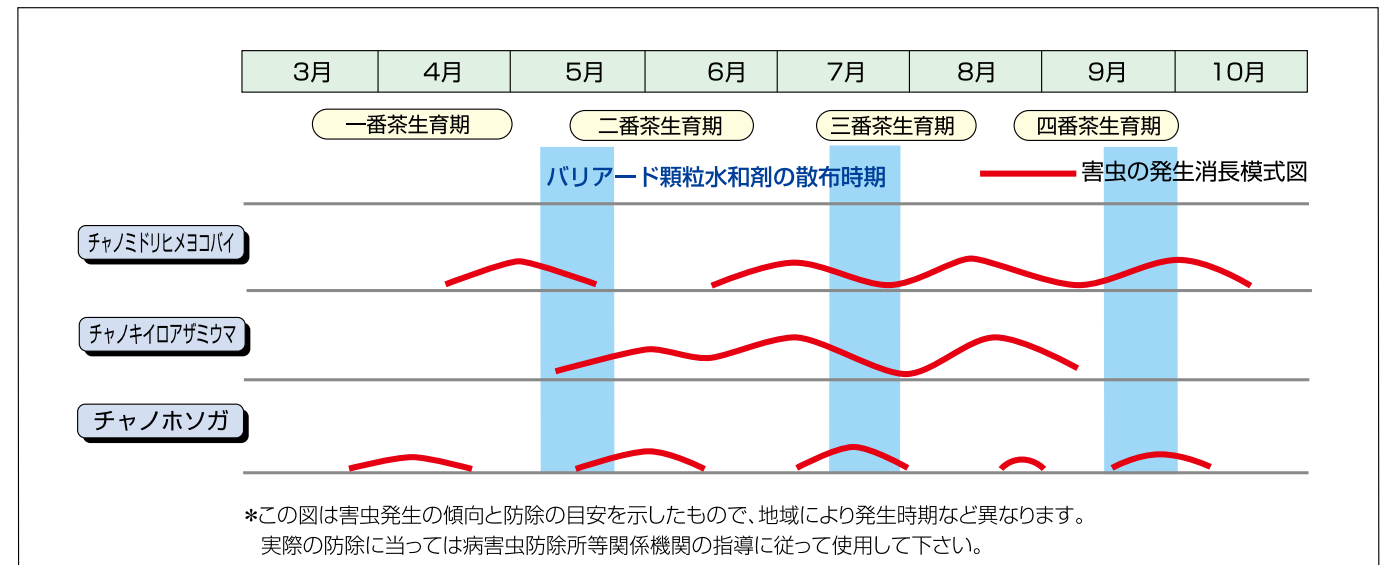
お茶に
殺虫剤

バリアード顆粒水和剤は茶の重要害虫であるチャノホソガに高い防除効果があり、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマにも有効です。新芽、新葉を加害するチャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマは葉裏や新芽のすき間に入り込み防除が難しい害虫です。バリアード顆粒水和剤は浸透移行性に優れていますので、これらの害虫を確実に防除し、チャノホソガとの同時防除を兼ねての散布をお勧めします。



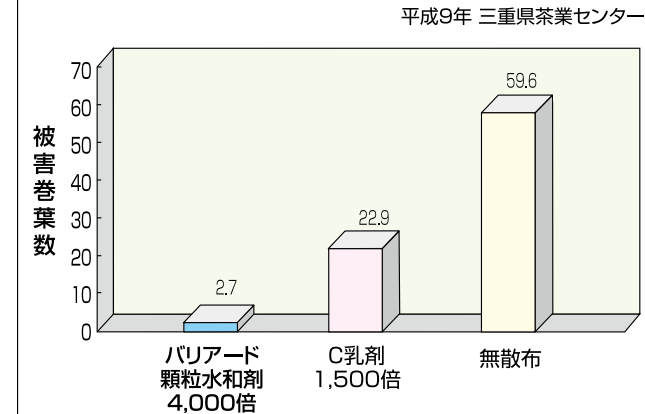
チャノホソガ

茶の害虫発生時期と防除時期



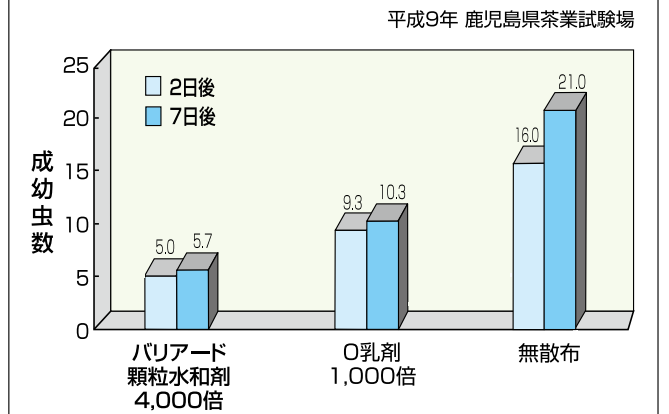
試験成績

◎茶のチャノホソガに対する防除効果



試験場所：亀山市樺世町（場内ほ場）
発生状況：中発生 品種：やぶきた 3年生
散布月日：6月2日
調査月日：6月18日（散布16日後）に全巻葉数を調査

◎茶のチャノキイロアザミウマに対する防除効果



試験場所：川辺郡知覧町（場内ほ場）
発生状況：少発生 品種：やぶきた 31年生
散布月日：8月18日
調査月日：8月20日（散布2日後）、8月25日（散布7日後）

